

**令和5年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立表郷小学校長

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**(1) 教科の平均正答率比較表**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.2%	○				
算数	62.5%	○				

## (2) 各教科結果

### 【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%	○				
情報の扱い方に関する事項	63.4%				○	
話すこと・聞くこと	72.6%			○		
書くこと	26.7%	○				
読むこと	71.2%	○				

### 【考察】

- 「情報の扱い方に関する事項」に関しては、全国の平均正答率をやや上回りました。原因と結果など情報と情報との関係について考え、理解することができたことを示しています。
- 「書くこと」・「読むこと」の領域では、全国平均を下回りました。特に文章を正しく読み取ること、文章を読んで自分の考えをしっかりとち、条件に合わせて書くことに課題が見られました。国語科の学習では、言葉を大切にして正しく読み取ること、目的や意図に応じて自分が伝えたいことを分かりやすく書くことを重点的に指導していきたいと考えます。また、日常生活においては、読書の時間を確保したり、他の教科でも国語科で学習したことを生かすことができるようにしていきます。

### 【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%	○				
図形	48.2%	○				
変化と関係	70.9%	○				
データの活用	65.5%	○				

### 【考察】

- すべての領域において全国正答率を下回りましたが、わり算の筆算の仕方についての理解は全国平均以上でした。これからも「なぜそうなるのか、わけを考える」授業を大切に進めていきます。
- 記述式の問題の正答率が低く、中でも、日常の問題場面から比例関係を見極め、記述する問題が大きく全国正答率を下回りました。いろいろな日常の問題場面に触れるとともに、その問題場面の解釈や必要な数量の関係性を考える場を設けるなど、継続的な指導を行っていきます。